



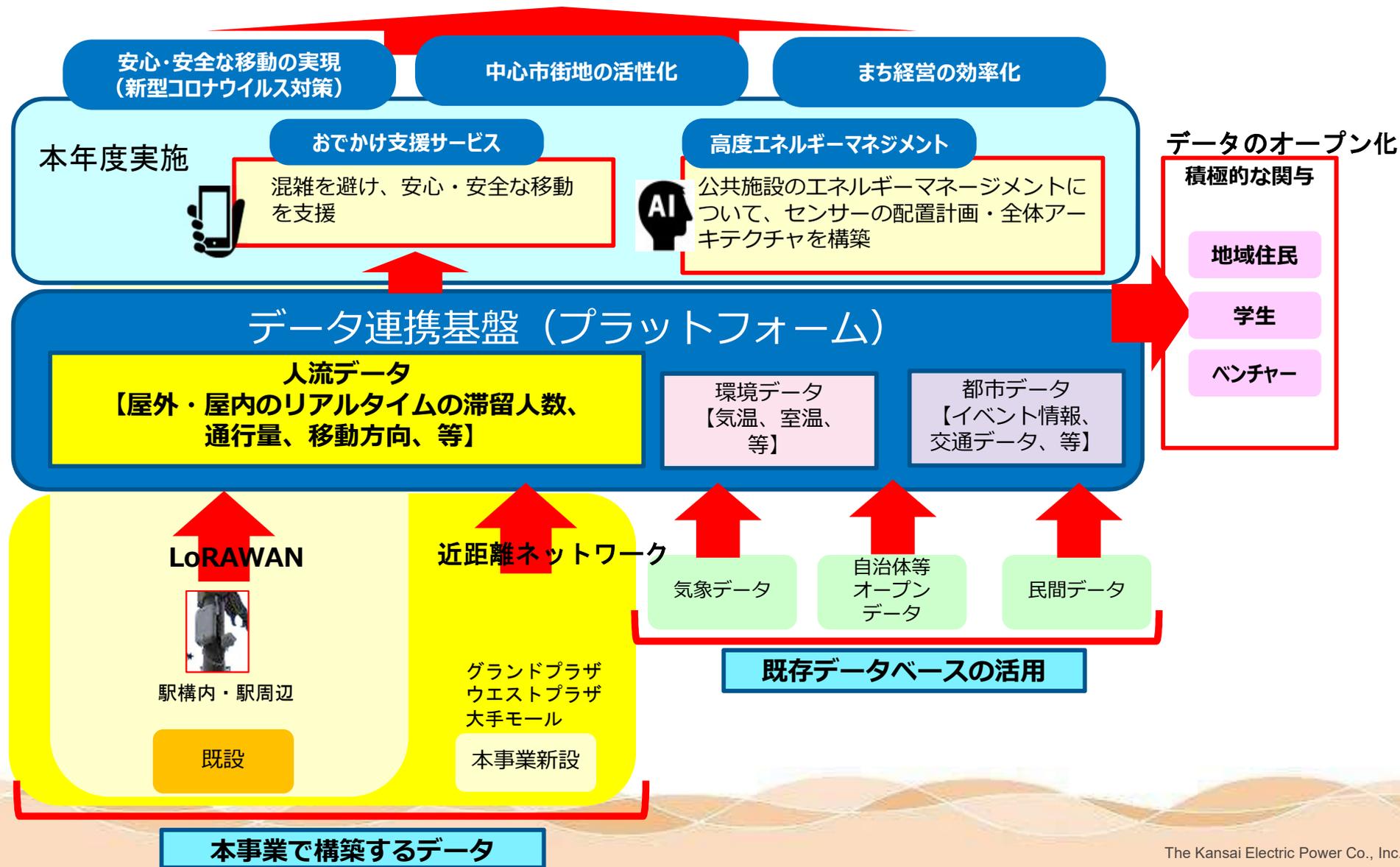
# とやまつながりプロジェクトにおける 富山市センサーネットワーク活用について

関西電力株式会社  
ソリューション本部  
地域開発グループ

2023年3月22日

○富山市が抱える地域課題に対し、富山市のデータ連携基盤を活用し、データ利活用型スマートシティによる課題解決を目指す。

## 富山市民にとって安心・安全で、魅力的なまちづくりの実現



## (参考) IoTアセット 人流センサーの概要

設置する人流センサーは赤外線を活用し、以下の特徴を有する

- 移動方向を検知できる
- ワイヤレス、低消費電力  
(電池での長時間駆動可能)
- 小型 (設置が簡単)
- プライバシー保護
- 安価



写真は(株)センサーズ・アンド・ワークス提供

- ・リアルタイム人流データは、データ利活用型スマートシティで汎用性の高い基礎的なデータになると期待  
→プライバシー保護を意識しながら、まずは行政、地元にもメリットを実感してもらう基礎的活用事例と整理
- ・今後の利活用イメージは、次のとおり。

目的	利用シーン	対象
賑わい創出	①活動評価の根拠として利用する (EBPM) : 行政、デベロッパー等	屋外 屋内
混雑緩和	②実際に行動変容するため利用する : 市民、訪問者 (観光客・出張者)	
マーケティング	③民間事業者 (地元の商業関係者など) の 販売計画、人員配置	
エネルギーコスト削減 (= 環境負荷低減)	行政、民間の建物管理者など	屋内

- お出かけ支援サービス「シエマル」は、新型コロナウイルス対策として、当該エリアの混雑情報および今後の予測情報を市民にリアルタイムで公開し、安心・安全な移動を支援する。
- 検討にあたっては、市民が利用しやすい情報発信の方法について、ハッカソンコンテストを実施（2021年1月16日～17日）し、選出された富山県内の大学生チームとともに開発を実施。
- 現在、地元飲食店のクーポンを利用可能に改修。地元飲食店の登録店数を拡大中。

<お出かけ支援サービス「シエマル」の画面>

①WEBによる紹介ページ

<https://www.shiemaru.com/>

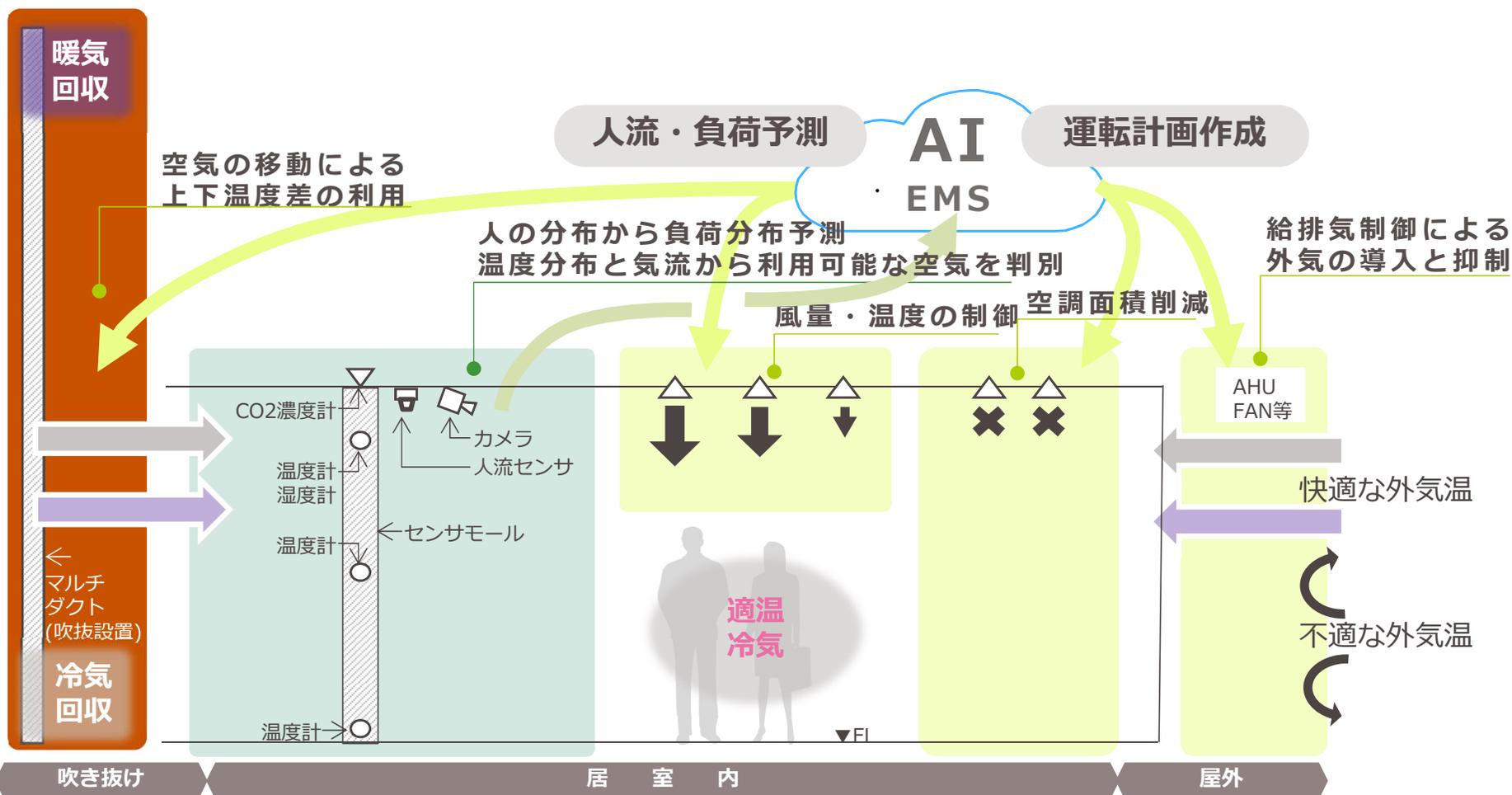
②LINEによる友だち追加 ⇒  
はこちら



(参考) LINEでの画面



○公共施設のエネルギーデータを一元管理し、人流や温湿度センシングによるスマート空調を導入する高度エネルギーマネジメント。



## 報告1 おでかけ支援サービス「シエマル」の利用者拡大

- 昨年、加盟店や地元有名人のおすすめ店舗の追加、店舗へのビーコンを設置し通行人への案内をおこなえるようにした。
- 今年度は、地元インフルエンサーによる拡散、SNSへの広告掲載などを実施し、954→3,825人まで会員の拡大を図ることができた。

## 報告2 トランジットモールの人流データ分析

- 昨年度、大手モールやグランドプラザへの赤外線センサー、AIカメラを設置。
- 今年度、設置したセンサーを活用しトランジットモール時(5/29)の人流データの分析を実施した。

